

福井県内企業景気動向調査 調査結果

(2018年10～12月 当期(実績))

(2019年1～3月 次期(見通し))

株式会社 福井銀行 コンサルティンググループ地域創生チーム
株式会社 福井キャピタル & コンサルティング

【調査の目的】

福井県内企業のみなさまにアンケート調査を行うことにより、景気動向(県内企業の現在の経営環境や今後の見通し)について情報提供いただき、共有することで、今後のみなさまの経営に少しでも役立てていただくことを目的としております。

【調査概要】

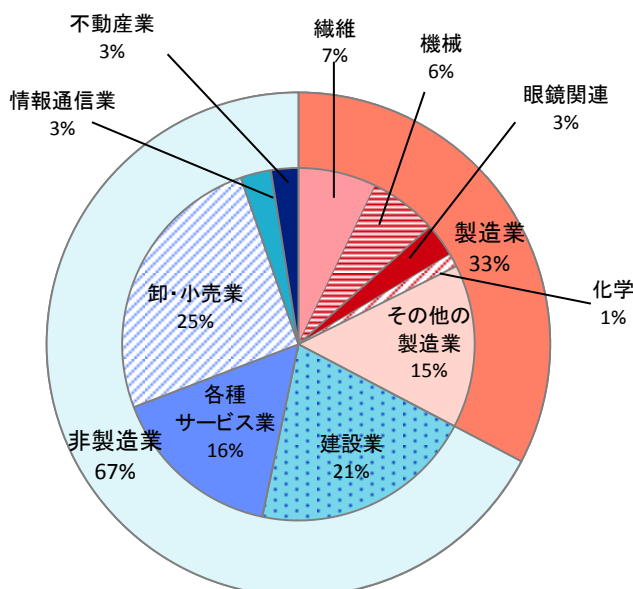
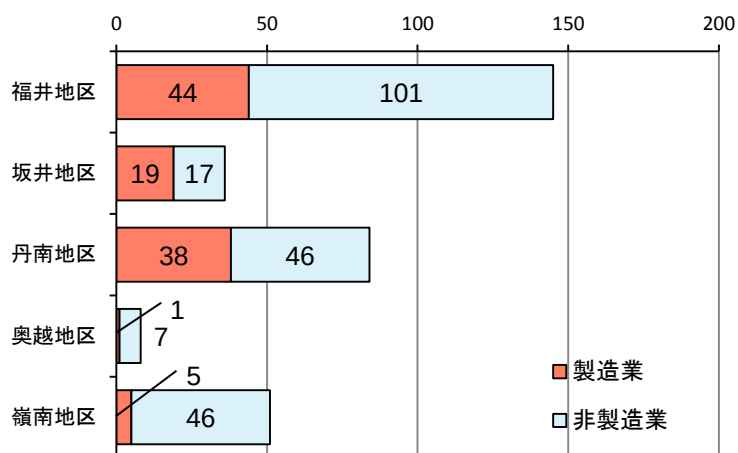
- ・調査対象企業 福井県内の企業 1,114社
- ・回答企業 324社(回答率 29.1%)
- ・調査時期 2018年12月初旬

【DI調査について】

このアンケート調査では、DI(Diffusion Index)による分析を行っております。DIは、「好転」と回答した企業の割合と「悪化」と回答した企業の割合との差を求めたものです。景気が良い場合はプラス幅が大きくなり、景気が悪化している場合はマイナス幅が大きくなります。

※ 原材料価格、在庫状況については、「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合との差を求めており、上記の判断とは逆の傾向を示します。

【回答企業の概要】



全体の景況感は、順調な売上と安定した収益を反映し、業績判断DIは、前回調査のプラス20からほぼ横ばいのプラス19となった。

業種別にみると、製造業では、機械は前回調査から大幅に低下したものの「良くなる」から「不変」への変化が主因であり実態はほぼ横ばいでプラス30となりプラス圏を維持した。繊維は販売価格の上昇により収益に改善が見られるものの売り上げが減少していることなどから前回調査から大幅に低下しマイナス9となりマイナス圏に転じた。その他製造業は売り上げや収益が安定していることから前回調査から上昇しプラス幅を広げた。化学は売上の減少による収益の悪化から前回調査から大幅に低下しマイナス圏に転じた。眼鏡は売上増に伴う収益の改善により大幅に上昇しプラス幅を広げた。全体としては、業種によるばらつきはあるものの繊維、化学を除きプラス圏で推移した。

非製造業では、建設業、卸・小売業、各種サービス業はともに安定した収益を反映し前回調査から上昇しプラス幅を広げた。不動産業は前回調査より低下したもののプラス圏を維持した。情報通信業は上昇しプラス圏に転じた。全体としては、不動産業を除き好転しプラス圏で推移した。

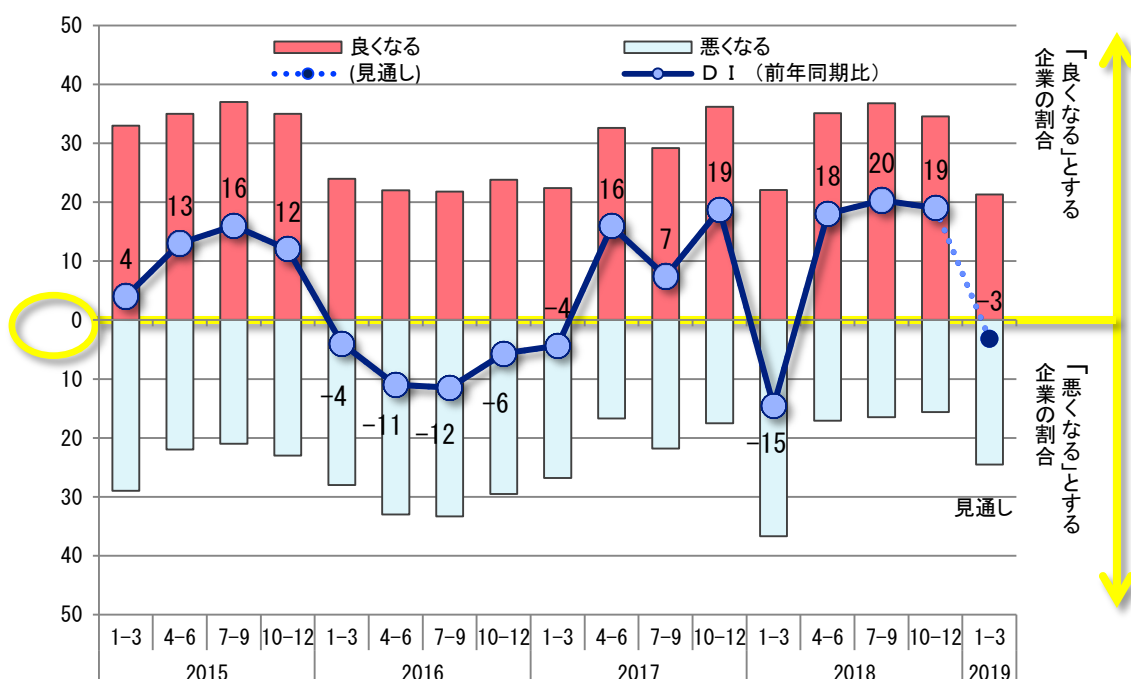
地域別にみると、福井、坂井地区は低下したもののプラス圏を維持した。丹南、嶺南地区は上昇しプラス幅を広げた。奥越地区は大幅に上昇しプラス圏に転じた。

先行きについては、製造業では、機械、その他製造業は大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通し。繊維は上昇を予想するもののマイナス圏に留まる見通し。眼鏡は大幅な低下を予想するもののプラス圏に留まる見通し。化学は大幅な上昇を予想しプラスマイナス0となる見通しである。

非製造業では、建設業、卸・小売業、各種サービス業は大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通し。不動産業、情報通信業は上昇を予想しプラス幅を広げる見通しである。

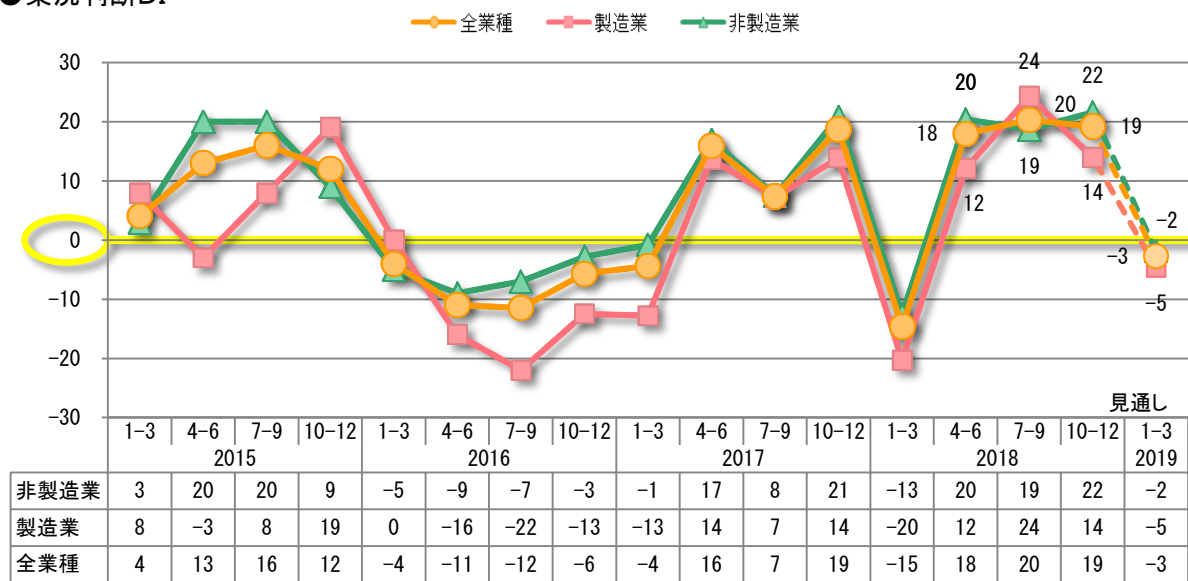
個別企業のコメントでは、依然として業種を問わず、人手・人材不足が多く挙げられている。また、それに伴う人件費の高騰を心配する声や、コスト増加分を価格に転嫁できないなどの意見が挙げられた。他には、消費税増税の影響などを心配する意見が挙げられた。

●自社の業況判断DIの推移

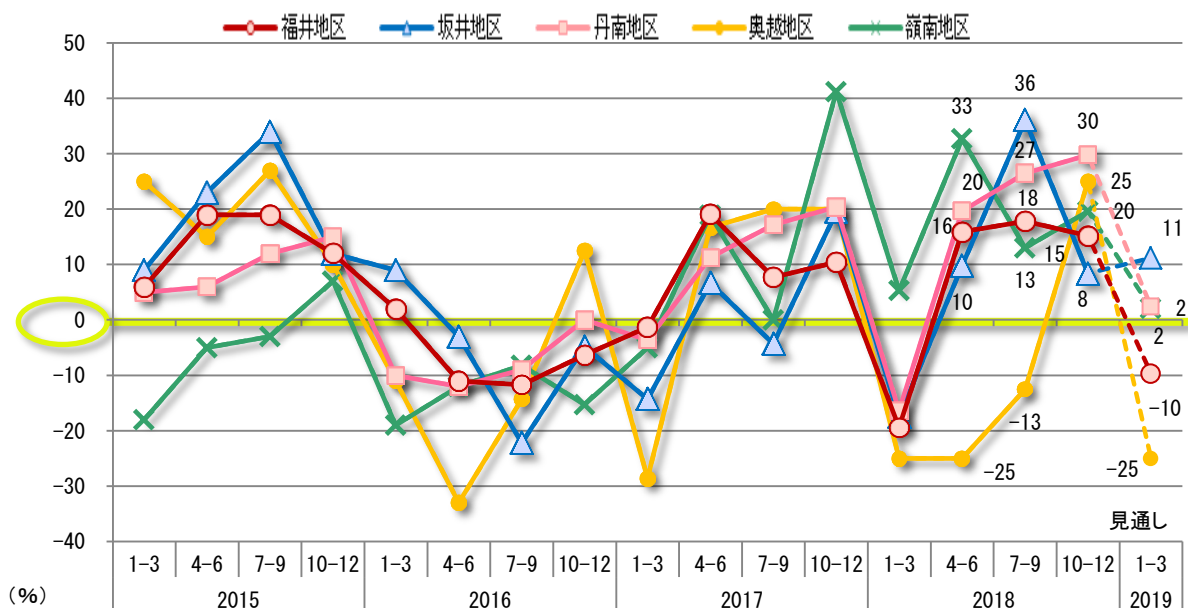


- 業況判断DIは、前回調査からほぼ横ばいのプラス19となりプラス圏を維持した。
- 業種別にみると、製造業は前回調査から大幅に低下したもののプラス圏を維持した。非製造業は前回調査から上昇しプラス幅を広げた。
- 先行きは、製造業、非製造業ともに大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通しである。

●業況判断DI

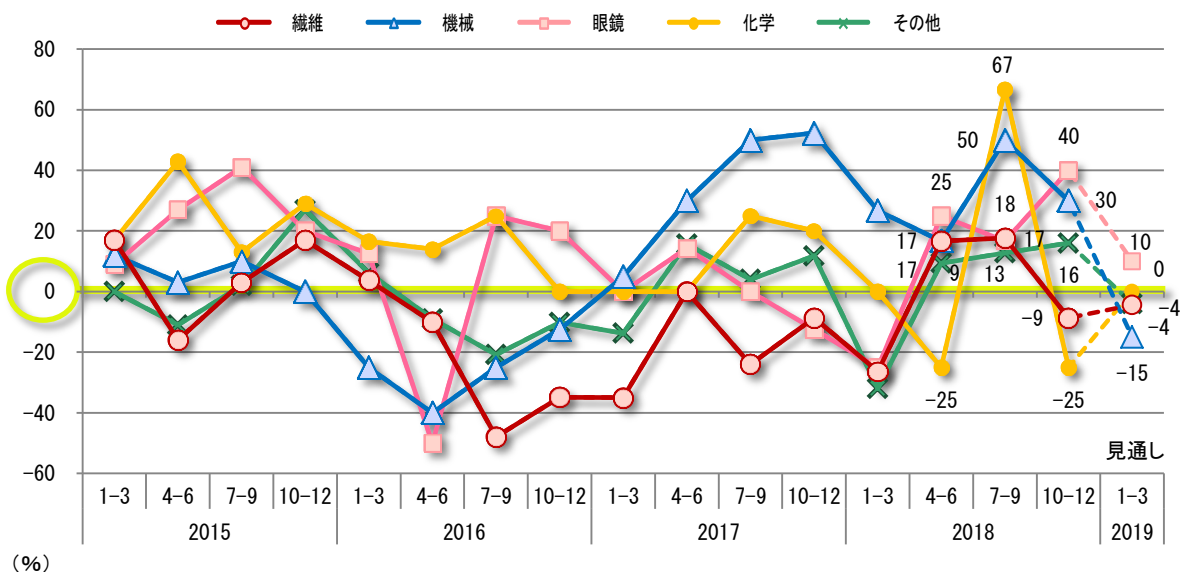


●地域別業況判断DI



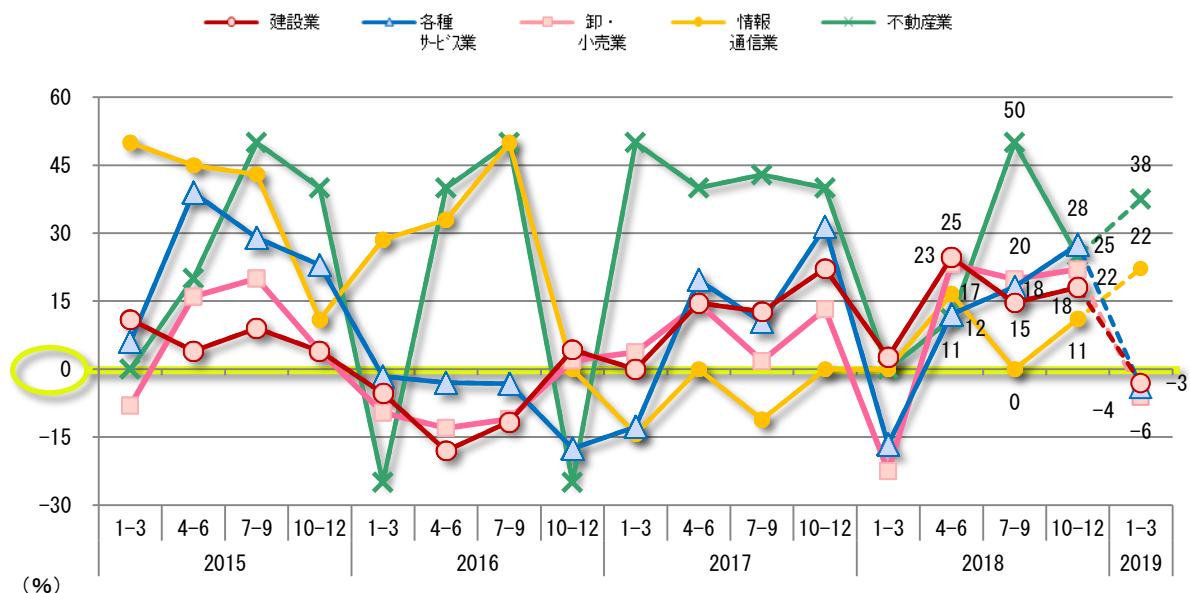
- 地域別では、福井地区は低下したもののプラス15となりプラス圏を維持した。坂井地区は大幅に低下したもののプラス8となりプラス圏を維持した。丹南地区は上昇しプラス30となりプラス幅を広げた。嶺南地区は上昇しプラス20となりプラス幅を広げた。奥越地区は大幅に上昇しプラス圏に転じた。
- 先行きは、坂井地区は上昇を予想しプラス幅を広げる見通し。福井地区、奥越地区は大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通し。丹南、嶺南地区は大幅な低下を予想するもののプラス圏を維持する見通しである。

●業種別業況判断DI(製造業)



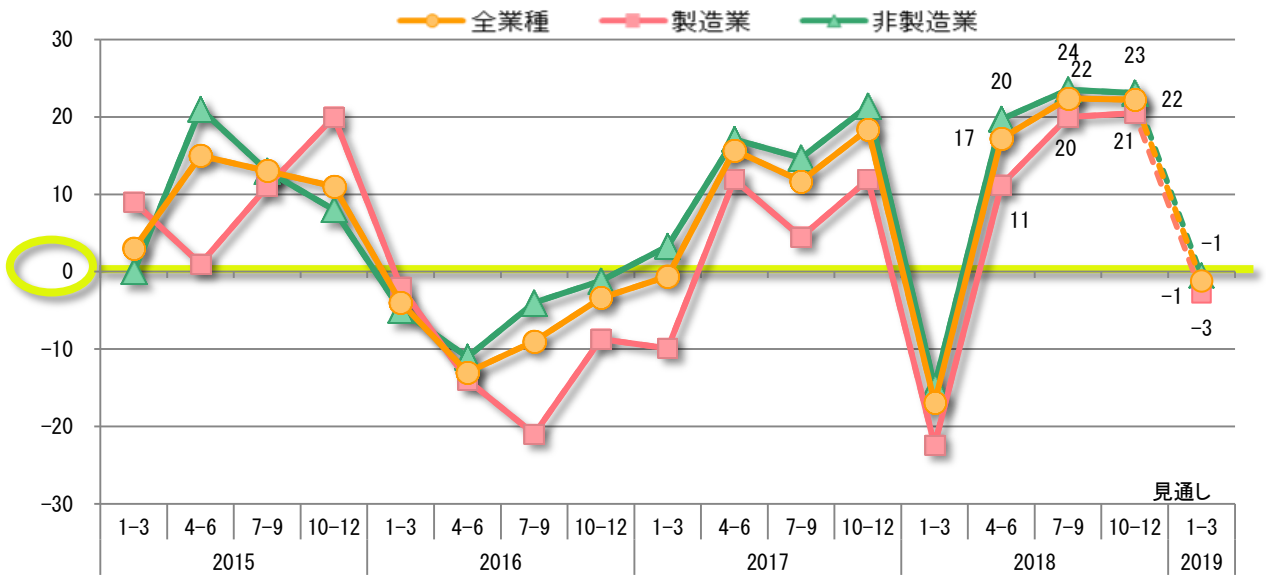
- 製造業では、機械は前回調査から大幅に低下するもののプラス30となりプラス圏を維持した。繊維は前回調査から大幅に低下しマイナス9となりマイナス圏に転じた。その他製造業は上昇しプラス16となりプラス幅を広げた。化学は前回調査から大幅に低下しマイナス圏に転じた。眼鏡は前回調査から大幅に上昇しプラス幅を広げた。
- 先行きは、機械は大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通し。繊維は上昇を予想するもののマイナス圏に留まる見通し。その他製造業は大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通し。化学は大幅な上昇を予想しプラスマイナス0となる見通し。眼鏡は大幅な低下を予想するもののプラス圏を維持する見通しである。

●業種別業況判断DI(非製造業)



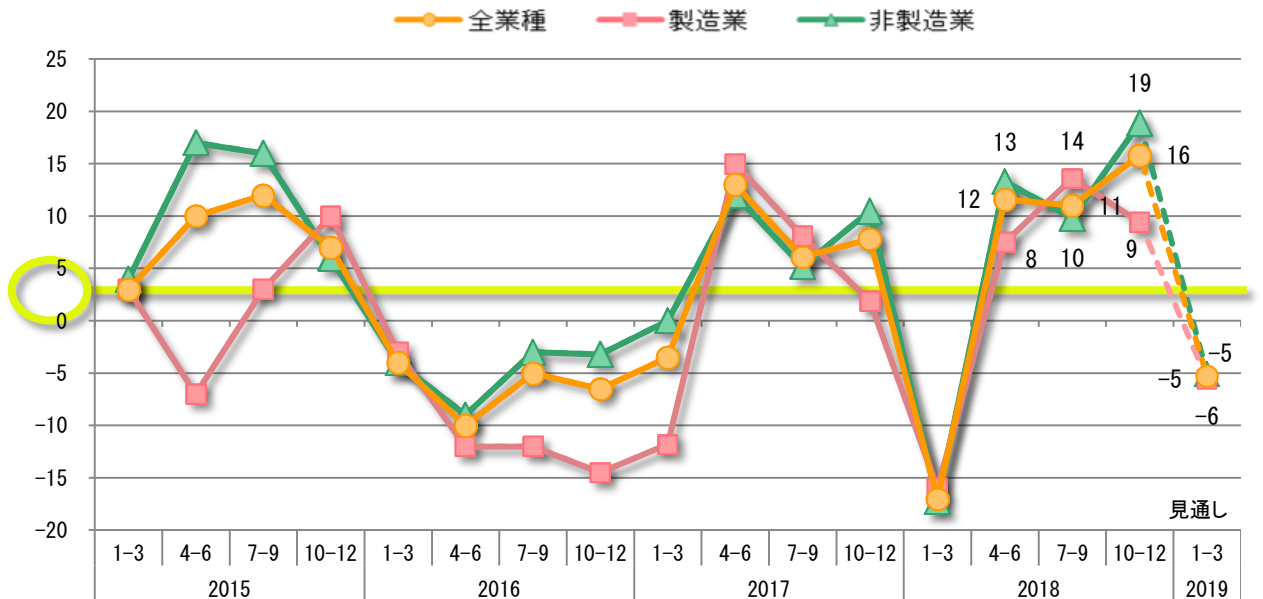
- 非製造業では、建設業は前回調査から上昇しプラス18となりプラス幅を広げた。卸・小売業は前回調査からやや上昇しプラス22となりプラス幅を広げた。各種サービス業は前回調査から大幅に上昇しプラス28となりプラス幅を広げた。不動産業は前回調査から大幅に低下したもののプラス圏を維持した。情報通信業は前回調査から大幅に上昇しプラス圏に転じた。
- 先行きは、建設業、卸・小売業、各種サービス業は大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通し。不動産業、情報通信業は上昇を予想しプラス幅を広げる見通しである。

売上(工事)高



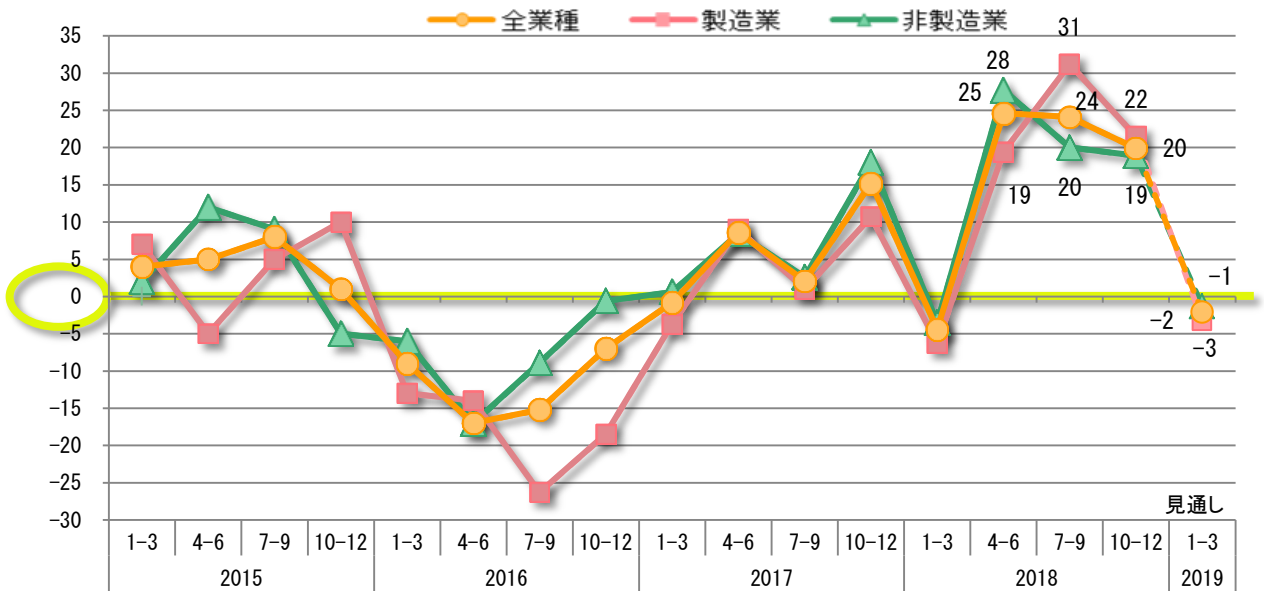
- ・ 売上(工事)高DIは、前回調査から横ばいのプラス22となりプラス圏を維持した。
- ・ 業種別にみると、製造業、非製造業ともに前回調査からほぼ横ばいとなりプラス圏を維持した。
- ・ 先行きは、製造業、非製造業ともに大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通しである。

収益状況



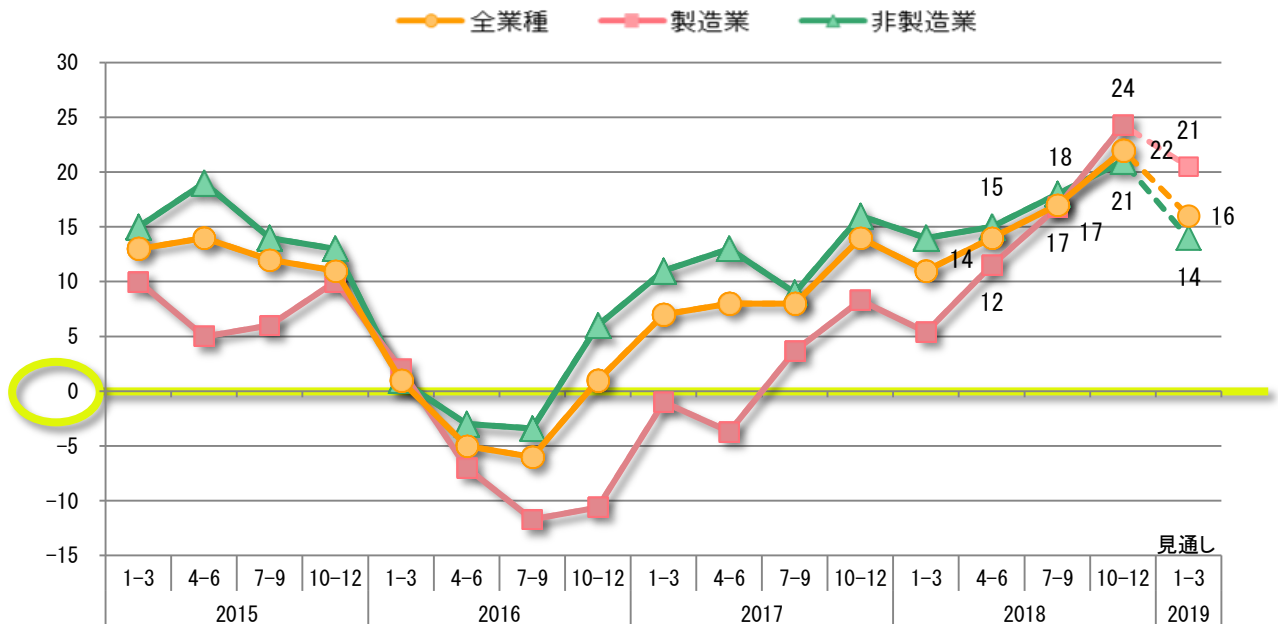
- ・ 収益状況DIは、前回調査から上昇してプラス16となりプラス幅を広げた。
- ・ 業種別にみると、製造業は前回調査より低下したもののプラス圏を維持した。非製造業は前回調査より上昇しプラス幅を広げた。
- ・ 先行きは、製造業、非製造業ともに大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通しである。

受注残高



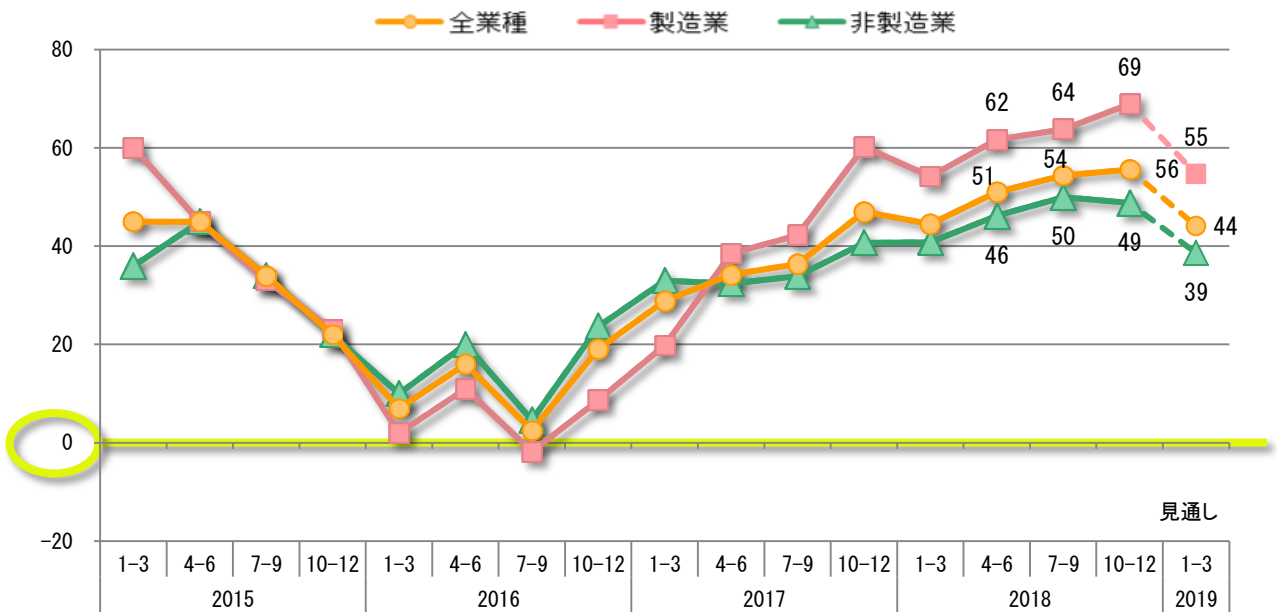
- 受注残高DIは、前回調査から低下したもののプラス20となりプラス圏を維持した。
- 業種別にみると、製造業は前回調査から低下したもののプラス圏を維持した。非製造業は前回調査からほぼ横ばいとなりプラス圏を維持した。
- 先行きは、製造業、非製造業ともに低下を予想しマイナス圏に転じる見通しである。

製(商)品販売価格



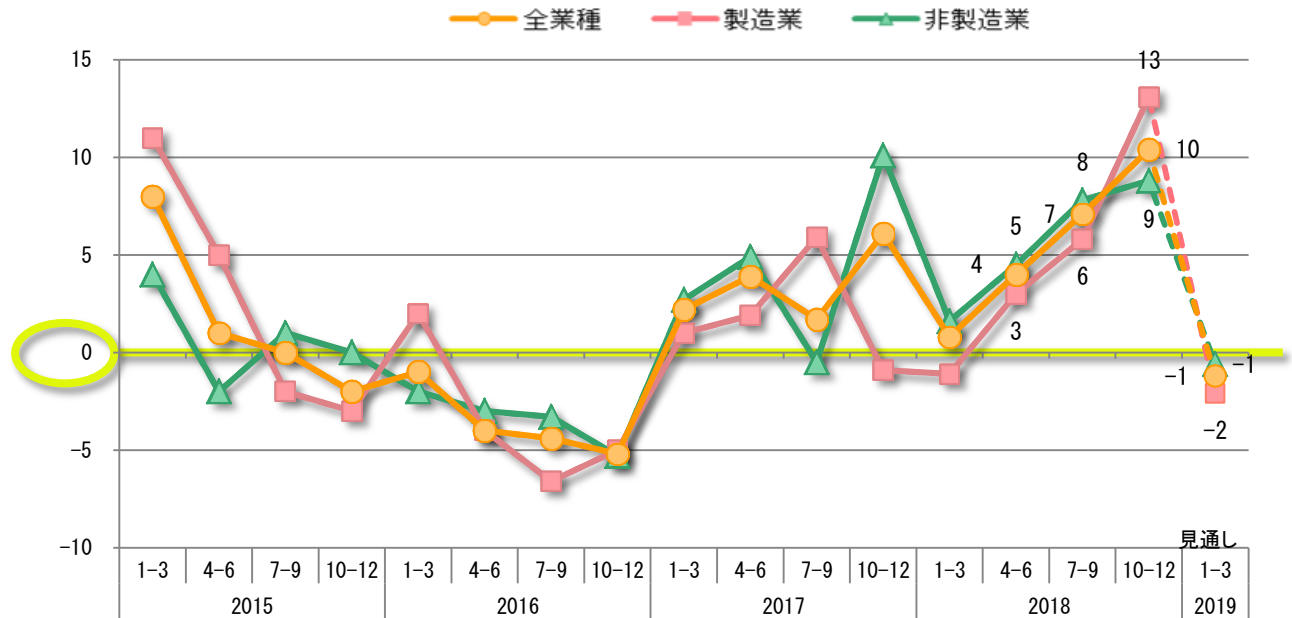
- 製(商)品販売価格DIは、前回調査から上昇しプラス22となりプラス幅を広げた。
- 業種別にみると、製造業、非製造業ともに前回調査から上昇しプラス幅を広げた。
- 先行きは、製造業、非製造業ともに低下を予想するもののプラス圏を維持する見通しである。

原材料(仕入・資材)価格



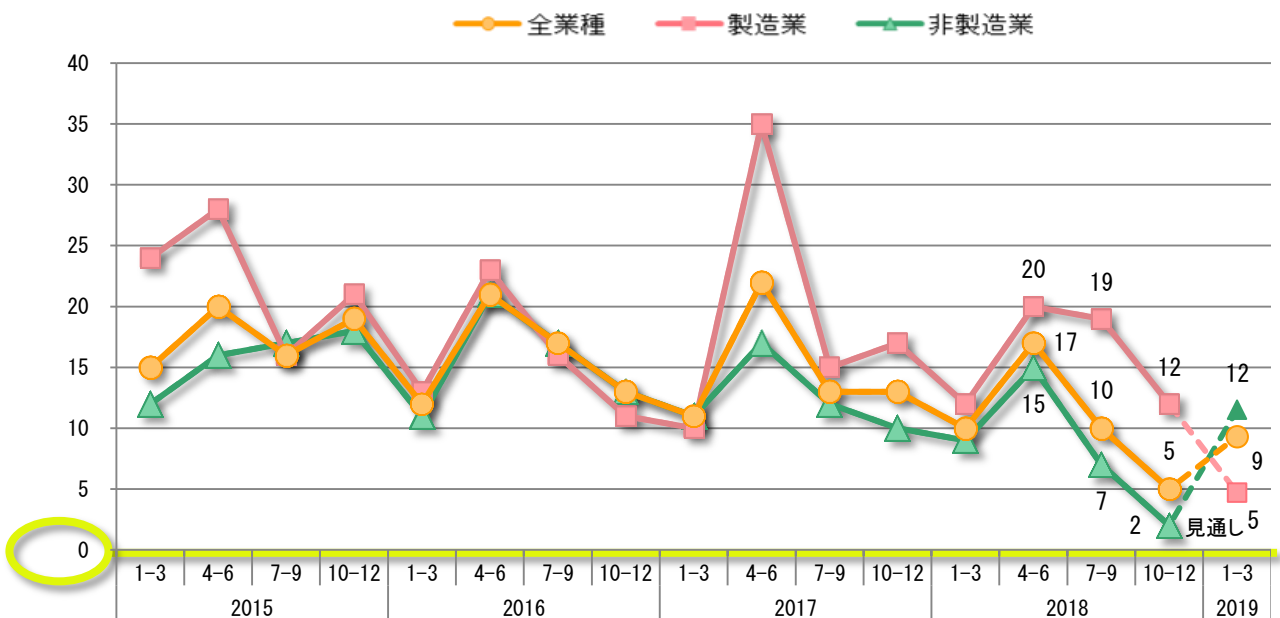
- ・ 原材料(仕入・資材)価格DIは、前回調査からやや上昇しプラス56となり引き続き高い水準でプラス幅を広げた。
- ・ 業種別にみると、製造業は前回調査から上昇し引き続き高い水準でプラス幅を広げた。非製造業は前回調査からほぼ横ばいとなり引き続き高い水準でプラス圏を維持した。
- ・ 先行きは、製造業、非製造業ともに低下を予想するものの引き続き高い水準でプラス圏を維持する見通しである。

在庫



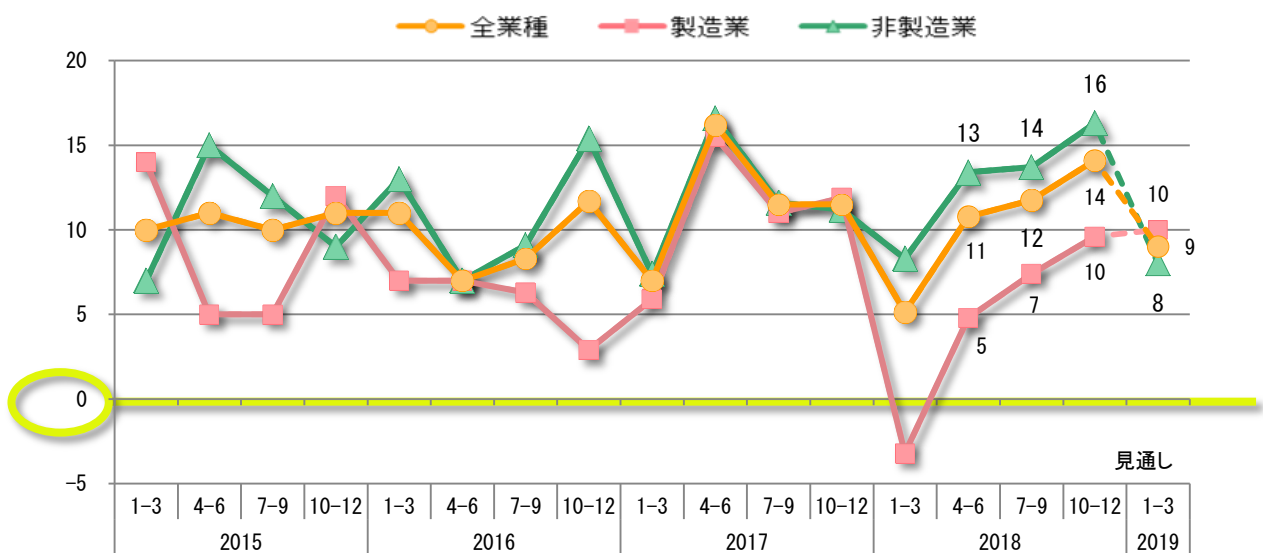
- ・ 在庫DIは、前回調査から上昇しプラス10となりプラス幅を広げた。
- ・ 業種別にみると、製造業は前回調査から上昇しプラス幅を広げた。非製造業は前回調査からほぼ横ばいとなりプラス圏を維持した。
- ・ 先行きは、製造業、非製造業ともに低下を予想しマイナス圏に転じる見通しである。

雇用者数



- ・ 雇用者数DIは、前回調査から低下したもののプラス5となりプラス圏を維持した。
- ・ 業種別にみると、製造業、非製造業ともに前回調査から低下したもののプラス圏を維持した。
- ・ 先行きは、製造業は低下を予想するもののプラス圏を維持する見通し。非製造業は大幅な上昇を予想しプラス幅を広げる見通しである。

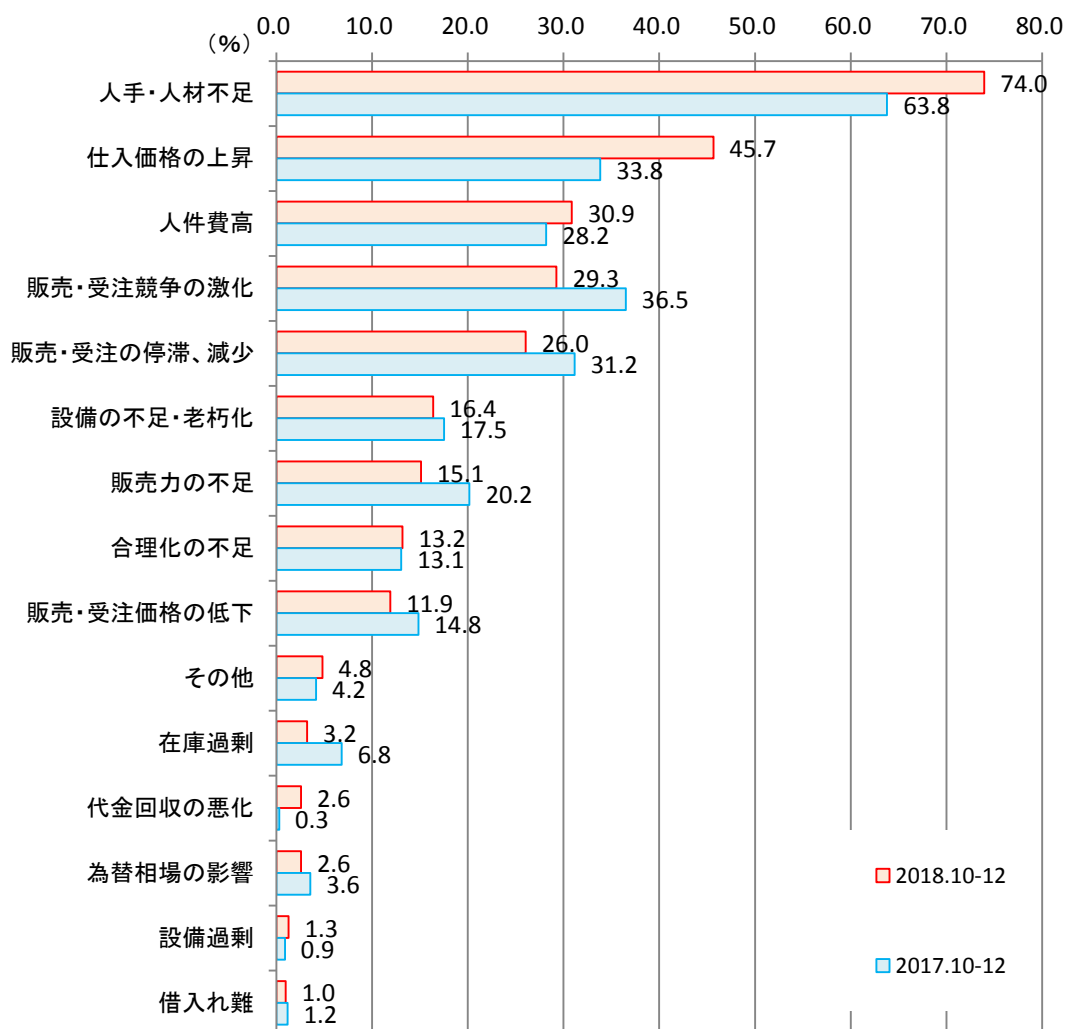
資金繰り



- ・ 資金繰りDIは、前回調査からやや上昇しプラス14となりプラス幅を広げた。
- ・ 業種別にみると、製造業、非製造業ともに前回調査から上昇しプラス幅を広げた。
- ・ 先行きは、製造業はほぼ横ばいを予想しプラス圏を維持する見通し。非製造業は低下を予想するもののプラス圏を維持する見通しである。

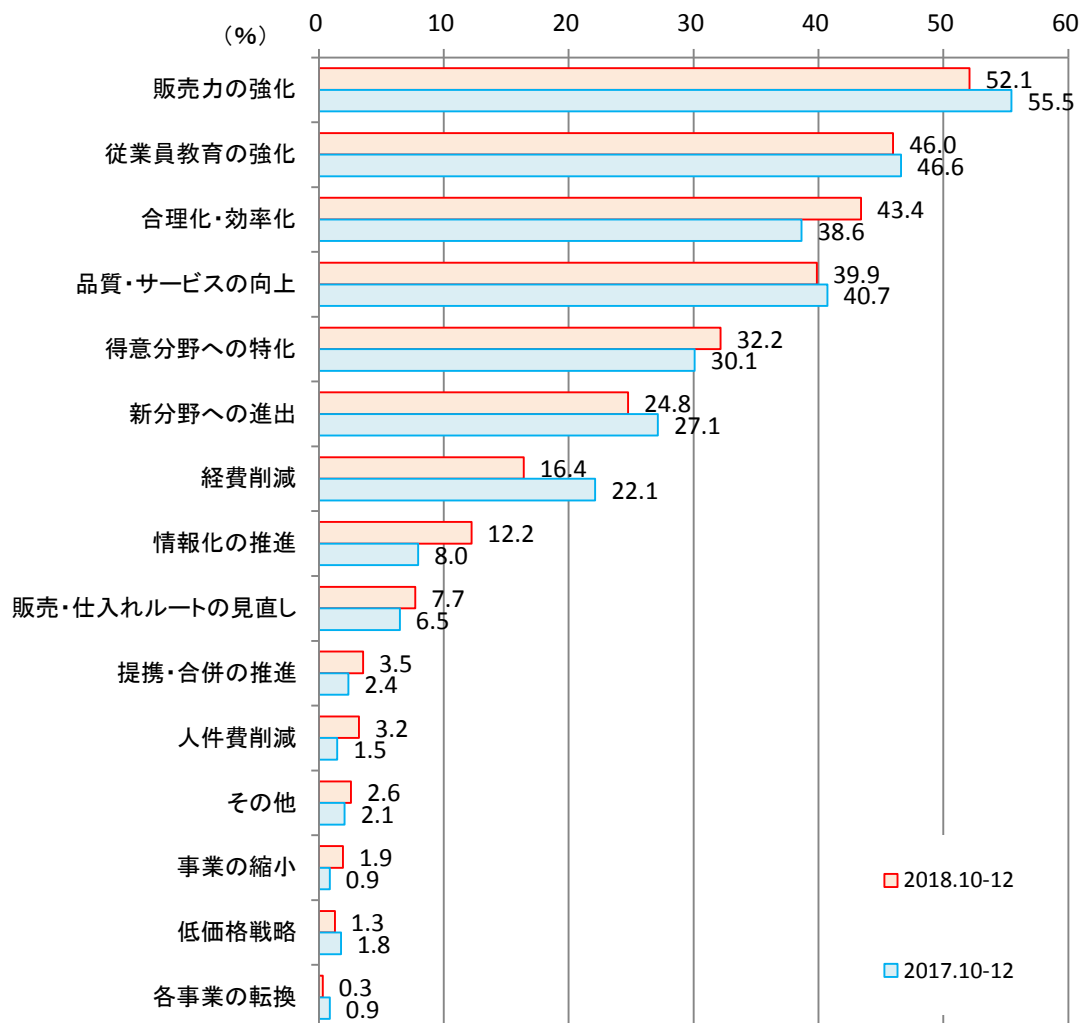
経営上の問題点(複数回答)

- 経営上当面の問題については、製造業で71.8%、非製造業で75.4%が「人手・人材不足」と回答しました。また、次点として、製造業で60.2%、非製造業で38.4%が「仕入価格の上昇」と回答しましたが、回答の割合は業種別で差が見られました。全業種における前年同期との2期比較では、「人手・人材不足」が63.8%から74.0%へ、「仕入価格の上昇」が33.8%から45.7%へと増加した一方で、「販売・受注競争の激化」は36.5%から29.3%へ、「販売・受注の停滞、減少」は31.2%から26.0%へと減少しました。



今後の経営方針(複数回答)

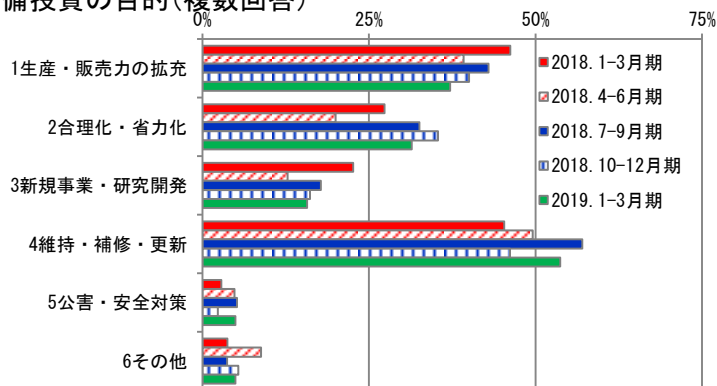
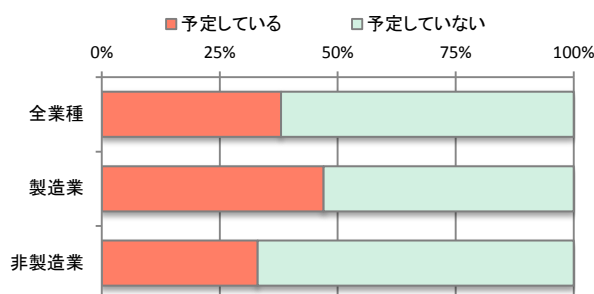
- 今後の経営方針については、製造業で49.5%、非製造業で52.6%が「販売力の強化」と回答しました。また、次点として、製造業で49.5%が「合理化・効率化」(同率1位)と回答した一方で、非製造業では50.2%が「従業員教育の強化」と回答し、業種別で回答がわかれました。全業種における前年同期との2期比較では、「販売力の強化」が55.5%から52.1%へ、「従業員教育の強化」が46.6%から46.0%へとわずかに減少した一方で、「合理化・効率化」は38.6%から43.4%へと微増しました。



設備投資の有無

●設備投資の有無

●設備投資の目的(複数回答)



業種別分類集計①

四半期別		2018年7-9月期				2018年10-12月期						2019年1-3月期				
		前期実績				当期実績						来期見通し				
		良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易	不変	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難	D.I.	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易	不変	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難	D.I.	前回 調査時 今期 見通し	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易	不変	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難	D.I.		
項目		①	②	③	①-③	①	②	③	前期比	①-③		①	②	③	今期比	①-③
業況		36.8	46.8	16.5	20.3	34.6	50.0	15.4	↓	19.2	20.7	21.4	54.3	24.2	↓	▲ 2.8
製造業		43.2	37.9	18.9	24.3	31.8	50.5	17.8	↓	14.0	33.7	19.6	56.1	24.3	↓	▲ 4.7
繊維		47.1	23.5	29.4	17.7	34.8	21.7	43.5	↓	▲ 8.7	47.0	30.4	34.8	34.8	↑	▲ 4.4
機械		59.1	31.8	9.1	50.0	30.0	70.0	0.0	↓	30.0	27.3	10.0	65.0	25.0	↓	▲ 15.0
眼鏡		16.7	83.3	0.0	16.7	40.0	60.0	0.0	↑	40.0	33.3	20.0	70.0	10.0	↓	10.0
化学		66.7	33.3	0.0	66.7	25.0	25.0	50.0	↓	▲ 25.0	0.0	0.0	100.0	0.0	↑	0.0
その他		36.2	40.4	23.4	12.8	30.0	56.0	14.0	↑	16.0	34.0	20.0	56.0	24.0	↓	▲ 4.0
非製造業		34.0	50.7	15.3	18.7	35.9	49.8	14.3	↑	21.6	14.9	22.3	53.5	24.2	↓	▲ 1.9
建設業		31.1	52.5	16.4	14.7	32.8	52.2	14.9	↑	17.9	16.4	22.7	51.5	25.8	↓	▲ 3.1
各種サービス業		30.9	56.4	12.7	18.2	41.2	45.1	13.7	↑	27.5	▲ 5.4	22.0	52.0	26.0	↓	▲ 4.0
卸・小売業		38.4	43.0	18.6	19.8	35.4	51.2	13.4	↑	22.0	29.1	20.7	52.4	26.8	↓	▲ 6.1
情報通信業		0.0	100.0	0.0	0.0	33.3	44.4	22.2	↓	11.1	▲ 20.0	22.2	77.8	0.0	↑	22.2
不動産業		50.0	50.0	0.0	50.0	37.5	50.0	12.5	↓	25.0	12.5	37.5	62.5	0.0	↑	37.5
売上(工事)高		40.6	41.2	18.2	22.4	40.2	41.8	18.0	↓	22.2	19.8	26.2	46.4	27.4	↓	▲ 1.2
製造業		42.1	35.8	22.1	20.0	36.4	47.7	15.9	↑	20.5	33.7	21.5	54.2	24.3	↓	▲ 2.8
繊維		47.1	23.5	29.4	17.7	34.8	34.8	30.4	↓	4.4	47.0	34.8	39.1	26.1	↑	8.7
機械		59.1	31.8	9.1	50.0	35.0	60.0	5.0	↓	30.0	36.4	15.0	65.0	20.0	↓	▲ 5.0
眼鏡		16.7	83.3	0.0	16.7	50.0	40.0	10.0	↑	40.0	16.7	10.0	70.0	20.0	↓	▲ 10.0
化学		66.7	33.3	0.0	66.7	25.0	0.0	75.0	↓	▲ 50.0	0.0	25.0	50.0	25.0	↑	0.0
その他		34.0	36.2	29.8	4.2	36.0	54.0	10.0	↑	26.0	31.9	20.0	54.0	26.0	↓	▲ 6.0
非製造業		39.9	43.7	16.4	23.5	42.1	38.9	19.0	↓	23.1	13.6	28.5	42.5	29.0	↓	▲ 0.5
建設業		32.8	49.2	18.0	14.8	37.3	37.3	25.4	↓	11.9	3.3	25.8	34.8	39.4	↓	▲ 13.6
各種サービス業		41.8	47.3	10.9	30.9	52.9	33.3	13.7	↑	39.2	7.3	28.0	44.0	28.0	↓	0.0
卸・小売業		42.9	38.1	19.0	23.9	39.5	43.2	17.3	↓	22.2	25.0	29.6	44.4	25.9	↓	3.7
情報通信業		40.0	40.0	20.0	20.0	33.3	55.6	11.1	↑	22.2	▲ 20.0	22.2	77.8	0.0	→	22.2
不動産業		50.0	37.5	12.5	37.5	50.0	25.0	25.0	↓	25.0	37.5	50.0	37.5	12.5	↑	37.5
収益		33.0	45.0	22.0	11.0	35.2	45.4	19.4	↑	15.8	14.0	22.0	50.6	27.3	↓	▲ 5.3
製造業		36.8	40.0	23.2	13.6	31.8	45.8	22.4	↓	9.4	23.4	20.6	53.3	26.2	↓	▲ 5.6
繊維		41.2	29.4	29.4	11.8	39.1	34.8	26.1	↑	13.0	41.2	30.4	47.8	21.7	↓	8.7
機械		50.0	45.5	4.5	45.5	35.0	50.0	15.0	↓	20.0	27.3	15.0	65.0	20.0	↓	▲ 5.0
眼鏡		0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	30.0	50.0	20.0	↑	10.0	0.0	10.0	70.0	20.0	↓	▲ 10.0
化学		33.3	33.3	33.3	0.0	25.0	0.0	75.0	↓	▲ 50.0	▲ 33.3	25.0	50.0	25.0	↑	0.0
その他		34.0	40.4	25.5	8.5	28.0	52.0	20.0	↓	8.0	21.8	20.0	48.0	32.0	↓	▲ 12.0
非製造業		31.3	47.2	21.5	9.8	36.9	45.2	18.0	↑	18.9	9.8	22.8	49.3	27.9	↓	▲ 5.1
建設業		29.5	52.5	18.0	11.5	35.8	43.3	20.9	↑	14.9	1.6	24.2	39.4	36.4	↓	▲ 12.2
各種サービス業		30.9	47.3	21.8	9.1	39.2	45.1	15.7	↑	23.5	▲ 1.9	22.0	56.0	22.0	↓	0.0
卸・小売業		31.4	43.0	25.6	5.8	35.4	46.3	18.3	↑	17.1	20.9	20.7	50.0	29.3	↓	▲ 8.6
情報通信業		25.0	50.0	25.0	0.0	33.3	55.6	11.1	↑	22.2	0.0	11.1	77.8	11.1	↓	0.0
不動産業		50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	37.5	12.5	↓	37.5	37.5	50.0	50.0	0.0	↑	50.0
受注残高		36.8	50.5	12.7	24.1	33.3	53.3	13.4	↓	19.9	14.1	20.8	56.3	22.9	↓	▲ 2.1
製造業		40.0	51.3	8.8	31.2	33.3	54.8	11.8	↓	21.5	17.5	16.1	64.5	19.4	↓	▲ 3.3
繊維		41.2	41.2	17.6	23.6	42.9	47.6	9.5	↑	33.4	41.2	28.6	52.4	19.0	↓	9.6
機械		52.6	47.4	0.0	52.6	27.8	66.7	5.6	↓	22.2	26.3	11.1	50.0	38.9	↓	▲ 27.8
眼鏡		0.0	100.0	0.0	0.0	77.8	22.2	0.0	↑	77.8	40.0	22.2	77.8	0.0	↓	22.2
化学		33.3	66.7	0.0	33.3	25.0	0.0	75.0	↓	▲ 50.0	▲ 33.3	50.0	50.0	0.0	↑	50.0
その他		38.9	50.0	11.1	27.8	22.0	65.9	12.2	↓	9.8	2.8	7.3	75.6	17.1	↓	▲ 9.8
非製造業		35.0	50.0	15.0	20.0	33.3	52.3	14.4	↓	18.9	12.1	23.7	51.3	25.0	↓	▲ 1.3
建設業		36.8	43.9	19.3	17.5	38.8	41.8	19.4	↑	19.4	12.3	30.3	37.9	31.8	↓	▲ 1.5
各種サービス業		34.6	53.8	11.5	23.1	26.1	60.9	13.0	↓	13.1	▲ 7.7	17.4	65.2	17.4	↓	0.0
卸・小売業		36.7	49.0	14.3	22.4	30.9	58.2	10.9	↓	20.0	24.5	20.0	56.4	23.6	↓	▲ 3.6
情報通信業		0.0	100.0	0.0	0.0	40.0	60.0	0.0	↑	40.0	0.0	20.0	80.0	0.0	↓	20.0
不動産業		20.0	80.0	0.0	20.0	0.0	100.0	0.0	↓	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0

業種別分類集計②

(単位: %)

四半期別		2018年7-9月期				2018年10-12月期						2019年1-3月期					
		前期実績				当期実績						来期見通し					
状況		良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易	不変	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難	D.I.	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易	不変	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難	D.I.	前回 調査時 今期 見通し	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易	不変	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難	D.I.			
項目		①	②	③	①-③	①	②	③	前期比	①-③	①	②	③	今期比	①-③		
製(商)品販売価格		24.6	68.2	7.3	17.3	29.7	63.0	7.3	↑	22.4	16.2	23.7	68.6	7.7	↓	16.0	
製造業		22.1	72.6	5.3	16.8	28.0	68.2	3.7	↑	24.3	17.9	22.4	75.7	1.9	↓	20.5	
繊維		23.5	70.6	5.9	17.6	43.5	56.5	0.0	↑	43.5	23.5	26.1	73.9	0.0	↓	26.1	
機械		27.3	72.7	0.0	27.3	20.0	70.0	10.0	↓	10.0	13.6	15.0	80.0	5.0	→	10.0	
眼鏡		0.0	66.7	33.3	▲ 33.3	0.0	90.0	10.0	↑	▲ 10.0	▲ 16.7	0.0	90.0	10.0	→	▲ 10.0	
化学		0.0	100.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	→	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0	
その他		23.4	72.3	4.3	19.1	30.0	70.0	0.0	↑	30.0	23.4	30.0	70.0	0.0	→	30.0	
非製造業		25.8	66.0	8.2	17.6	30.6	60.1	9.3	↑	21.3	15.4	24.5	64.6	10.9	↓	13.6	
建設業		20.0	76.0	4.0	16.0	29.4	60.8	9.8	↑	19.6	16.0	21.6	66.7	11.8	↓	9.8	
各種サービス業		25.5	66.0	8.5	17.0	26.1	63.0	10.9	↓	15.2	0.0	20.0	64.4	15.6	↓	4.4	
卸・小売業		30.2	58.1	11.6	18.6	39.0	51.2	9.8	↑	29.2	24.4	31.7	58.5	9.8	↓	21.9	
情報通信業		25.0	75.0	0.0	25.0	0.0	100.0	0.0	↓	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0	
不動産業		14.3	85.7	0.0	14.3	0.0	100.0	0.0	↓	0.0	14.3	16.7	83.3	0.0	↑	16.7	
原材料(仕入・資材)価格		55.8	42.9	1.4	54.4	56.9	41.9	1.3	↑	55.6	47.6	47.0	50.2	2.9	↓	44.1	
製造業		64.9	34.0	1.1	63.8	69.8	29.2	0.9	↑	68.9	54.2	56.6	41.5	1.9	↓	54.7	
繊維		70.6	29.4	0.0	70.6	82.6	17.4	0.0	↑	82.6	70.6	65.2	34.8	0.0	↓	65.2	
機械		47.6	52.4	0.0	47.6	63.2	36.8	0.0	↑	63.2	47.6	47.4	52.6	0.0	↓	47.4	
眼鏡		50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	→	50.0	16.7	40.0	60.0	0.0	↓	40.0	
化学		100.0	0.0	0.0	100.0	75.0	0.0	25.0	↓	50.0	66.7	50.0	50.0	0.0	→	50.0	
その他		70.2	27.7	2.1	68.1	70.0	30.0	0.0	↑	70.0	55.3	60.0	36.0	4.0	↓	56.0	
非製造業		51.5	47.0	1.5	50.0	50.2	48.3	1.4	↓	48.8	44.5	42.0	54.6	3.4	↓	38.6	
建設業		58.6	41.4	0.0	58.6	60.0	40.0	0.0	↑	60.0	46.6	50.8	49.2	0.0	↓	50.8	
各種サービス業		46.9	51.0	2.0	44.9	43.5	56.5	0.0	↓	43.5	28.6	32.6	58.7	8.7	↓	23.9	
卸・小売業		51.8	45.9	2.4	49.4	51.2	45.1	3.7	↓	47.5	54.1	43.9	52.4	3.7	↓	40.2	
情報通信業		0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0	
不動産業		40.0	60.0	0.0	40.0	50.0	50.0	0.0	↑	50.0	40.0	50.0	50.0	0.0	→	50.0	
在庫		16.7	73.8	9.6	7.1	21.3	67.8	10.9	↑	10.4	0.0	12.0	74.8	13.2	↓	▲ 1.2	
製造業		15.1	75.6	9.3	5.8	24.2	64.6	11.1	↑	13.1	▲ 3.5	13.1	71.7	15.2	↓	▲ 2.1	
繊維		18.8	56.3	25.0	▲ 6.2	21.7	56.5	21.7	↑	0.0	▲ 6.3	21.7	69.6	8.7	↑	13.0	
機械		16.7	66.7	16.7	0.0	31.3	56.3	12.5	↑	18.8	▲ 16.6	6.3	68.8	25.0	↓	▲ 18.7	
眼鏡		16.7	83.3	0.0	16.7	50.0	50.0	0.0	↑	50.0	0.0	20.0	70.0	10.0	↓	10.0	
化学		33.3	66.7	0.0	33.3	50.0	25.0	25.0	↓	25.0	▲ 33.3	0.0	100.0	0.0	↓	0.0	
その他		11.6	86.0	2.3	9.3	15.2	78.3	6.5	↓	8.7	4.7	10.9	71.7	17.4	↓	▲ 6.5	
非製造業		17.5	72.7	9.7	7.8	19.5	69.8	10.7	↑	8.8	2.0	11.3	76.7	11.9	↓	▲ 0.6	
建設業		14.0	79.1	7.0	7.0	17.8	68.9	13.3	↓	4.5	▲ 4.7	8.9	75.6	15.6	↓	▲ 6.7	
各種サービス業		11.1	77.8	11.1	0.0	20.0	80.0	0.0	↑	20.0	▲ 3.7	12.0	88.0	0.0	↓	12.0	
卸・小売業		21.8	66.7	11.5	10.3	20.0	66.3	13.8	↓	6.2	6.5	13.8	72.5	13.8	↓	0.0	
情報通信業		0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0	
不動産業		20.0	80.0	0.0	20.0	40.0	60.0	0.0	↑	40.0	20.0	0.0	80.0	20.0	↓	▲ 20.0	
雇用者		27.6	55.2	17.2	10.4	26.6	52.0	21.4	↓	5.2	11.8	21.4	66.6	12.1	↑	9.3	
製造業		35.8	47.4	16.8	19.0	32.1	48.1	19.8	↓	12.3	22.3	19.8	65.1	15.1	↓	4.7	
繊維		35.3	52.9	11.8	23.5	31.8	54.5	13.6	↓	18.2	17.6	13.6	77.3	9.1	↓	4.5	
機械		59.1	27.3	13.6	45.5	50.0	25.0	25.0	↓	25.0	40.9	30.0	55.0	15.0	↓	15.0	
眼鏡		33.3	50.0	16.7	16.6	40.0	50.0	10.0	↑	30.0	0.0	10.0	90.0	0.0	↓	10.0	
化学		33.3	66.7	0.0	33.3	75.0	25.0	0.0	↑	75.0	0.0	25.0	75.0	0.0	↓	25.0	
その他		25.5	53.2	21.3	4.2	20.0	56.0	24.0	↓	▲ 4.0	19.6	20.0	58.0	22.0	↑	▲ 2.0	
非製造業		23.9	58.7	17.4	6.5	24.0	53.9	22.1	↓	1.9	7.1	22.1	67.3	10.6	↑	11.5	
建設業		21.7	58.3	20.0	1.7	17.9	55.2	26.9	↓	▲ 9.0	5.0	22.4	70.1	7.5	↑	14.9	
各種サービス業		25.5	54.5	20.0	5.5	25.5	52.9	21.6	↓	3.9	5.5	21.6	62.7	15.7	↑	5.9	
卸・小売業		22.4	62.4	15.3	7.1	28.0	52.4	19.5	↑	8.5	9.4	19.5	69.5	11.0	→	8.5	
情報通信業		40.0	40.0	20.0	20.0	33.3	44.4	22.2	↓	11.1	0.0	33.3	55.6	11.1	↑	22.2	
不動産業		37.5	62.5	0.0	37.5	12.5	75.0	12.5	↓	0.0	12.5	37.5	62.5	0.0	↑	37.5	
資金繰り		17.3	77.2	5.5	11.8	18.3	77.3	4.3	↑	14.0	11.8	13.4	82.0	4.7	↓	8.7	
製造業		11.6	84.2	4.2	7.4	12.3	84.9	2.8	↑	9.5	7.3	11.3	86.8	1.9	↓	9.4	
繊維		11.8	76.5	11.8	0.0	13.6	81.8	4.5	↑	9.1	23.5	13.6	86.4	0.0	↑	13.6	
機械		22.7	72.7	4.5	18.2	10.0	90.0	0.0	↓	10.0	4.6	10.0	85.0	5.0	↓	5.0	
眼鏡		0.0	100.0	0.0	0.0	20.0	80.0	0.0	↑	20.0	0.0	0.0	100.0	0.0	↓	0.0	
化学		0.0	100.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	↑	25.0	0.0	0.0	100.0	0.0	↓	0.0	
その他		8.5	89.4	2.1	6.4	10.0	86.0	4.0	↓	6.0	4.2	14.0	84.0	2.0	↑	12.0	
非製造業		19.8	74.1	6.1	13.7	21.3	73.6	5.1	↑	16.2	13.8	14.4	79.6	6.0	↓	8.4	
建設業		28.3	63.3	8.3	20.0	23.9	70.1	6.0	↓	17.9	13.3	13.4	77.6	9.0	↓	4.4	
各種サービス業		16.4	74.5	9.1	7.3	23.5	70.6	5.9	↑	17.6	11.1	17.6	76.5	5.9	↓	11.7	
卸・小売業		14.1	82.4	3.5	10.6	17.1	78.0	4.9	↑	12.2	12.9	13.4	81.7	4.9	↓	8.5	
情報通信業		50.0	50.0	0.0	50.0	25.0	75.0	0.0	↓	25.0	25.0	12.5	87.5	0.0	↓	12.5	
不動産業		25.0	75.0	0.0	25.0	25.0	75.0	0.0	→	25.0	37.5	12.5	87.5	0.0	↓	12.5	

地域別分類集計

(単位: %)

四半期別	2018年7-9月期				2018年10-12月期						2019年1-3月期				
	前期実績				今期実績						来期見通し				
状況	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易	不変	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難	D.I.	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易	不変	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難	D.I.	前回 調査時 今期 見通し	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易	不変	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難	D.I.		
項目	①	②	③	①-③	①	②	③	前期比	①-③	①	②	③	今期比	①-③	
業況	36.8	46.8	16.5	20.3	34.6	50.0	15.4	↓	19.2	20.7	21.4	54.3	24.2	↓	▲ 2.8
福井地区	37.5	42.8	19.7	17.8	29.0	57.2	13.8	↓	15.2	18.5	19.3	51.7	29.0	↓	▲ 9.7
坂井地区	44.4	47.2	8.3	36.1	30.6	47.2	22.2	↓	8.4	30.6	30.6	50.0	19.4	↑	11.2
丹南地区	36.8	52.9	10.3	26.5	41.7	46.4	11.9	↑	29.8	23.5	21.4	59.5	19.0	↓	2.4
奥越地区	12.5	62.5	25.0	▲ 12.5	50.0	25.0	25.0	↑	25.0	0.0	0.0	75.0	25.0	↓	▲ 25.0
嶺南地区	32.6	47.8	19.6	13.0	39.2	41.2	19.6	↑	19.6	19.6	24.5	53.1	22.4	↓	2.1
売上(工事)高	40.6	41.2	18.2	22.4	40.2	41.8	18.0	↓	22.2	19.8	26.2	46.4	27.4	↓	▲ 1.2
福井地区	38.7	40.7	20.7	18.0	36.1	47.2	16.7	↑	19.4	20.0	27.3	44.8	28.0	↓	▲ 0.7
坂井地区	58.3	27.8	13.9	44.4	36.1	38.9	25.0	↓	11.1	38.9	27.8	47.2	25.0	↓	2.8
丹南地区	38.2	44.1	17.6	20.6	45.2	42.9	11.9	↑	33.3	19.1	25.0	51.2	23.8	↓	1.2
奥越地区	25.0	50.0	25.0	0.0	50.0	25.0	25.0	↑	25.0	▲ 12.5	0.0	75.0	25.0	↓	▲ 25.0
嶺南地区	39.1	47.8	13.0	26.1	45.1	29.4	25.5	↓	19.6	10.9	28.0	38.0	34.0	↓	▲ 6.0
収益	33.0	45.0	22.0	11.0	35.2	45.4	19.4	↑	15.8	14.0	22.0	50.6	27.3	↓	▲ 5.3
福井地区	36.8	42.8	20.4	16.4	32.4	48.3	19.3	↓	13.1	13.8	22.2	50.0	27.8	↓	▲ 5.6
坂井地区	34.3	51.4	14.3	20.0	30.6	47.2	22.2	↓	8.4	28.6	25.0	52.8	22.2	↓	2.8
丹南地区	29.4	41.2	29.4	0.0	36.9	44.0	19.0	↑	17.9	13.4	20.2	51.2	28.6	↓	▲ 8.4
奥越地区	25.0	62.5	12.5	12.5	25.0	50.0	25.0	↓	0.0	0.0	0.0	62.5	37.5	↓	▲ 37.5
嶺南地区	26.1	50.0	23.9	2.2	45.1	37.3	17.6	↑	27.5	6.5	26.0	48.0	26.0	↓	0.0
受注残高	36.8	50.5	12.7	24.1	33.3	53.3	13.4	↓	19.9	14.1	20.8	56.3	22.9	↓	▲ 2.1
福井地区	39.6	46.2	14.2	25.4	28.8	56.8	14.4	↓	14.4	11.3	20.0	53.6	26.4	↓	▲ 6.4
坂井地区	42.9	52.4	4.8	38.1	26.9	57.7	15.4	↓	11.5	33.3	23.1	65.4	11.5	↑	11.6
丹南地区	34.5	56.4	9.1	25.4	37.3	52.2	10.4	↑	26.9	9.1	17.9	61.2	20.9	↓	▲ 3.0
奥越地区	20.0	60.0	20.0	0.0	25.0	25.0	50.0	↓	▲ 25.0	60.0	25.0	25.0	50.0	→	▲ 25.0
嶺南地区	30.3	51.5	18.2	12.1	44.7	44.7	10.5	↑	34.2	12.1	26.3	52.6	21.1	↓	5.2
製(商)品販売価格	24.6	68.2	7.3	17.3	29.7	63.0	7.3	↑	22.4	16.2	23.7	68.6	7.7	↓	16.0
福井地区	28.3	65.5	6.2	22.1	30.4	64.5	5.1	↑	25.3	23.5	23.9	69.6	6.5	↓	17.4
坂井地区	20.6	76.5	2.9	17.7	28.6	60.0	11.4	↓	17.2	20.6	20.0	71.4	8.6	↓	11.4
丹南地区	20.6	71.4	7.9	12.7	28.8	65.0	6.3	↑	22.5	11.2	23.8	72.5	3.8	↓	20.0
奥越地区	14.3	85.7	0.0	14.3	33.3	66.7	0.0	↑	33.3	14.3	16.7	66.7	16.7	↓	0.0
嶺南地区	22.5	62.5	15.0	7.5	29.3	56.1	14.6	↑	14.7	▲ 5.0	27.5	55.0	17.5	↓	10.0
原材料(仕入・資材)価格	55.8	42.9	1.4	54.4	56.9	41.9	1.3	↑	55.6	47.6	47.0	50.2	2.9	↓	44.1
福井地区	59.0	39.6	1.4	57.6	50.0	49.3	0.7	↓	49.3	56.9	48.6	50.7	0.7	↓	47.9
坂井地区	48.5	51.5	0.0	48.5	56.3	40.6	3.1	↑	53.2	45.5	43.8	53.1	3.1	↓	40.7
丹南地区	59.7	38.8	1.5	58.2	70.2	29.8	0.0	↑	70.2	41.8	46.4	48.8	4.8	↓	41.6
奥越地区	50.0	50.0	0.0	50.0	37.5	62.5	0.0	↓	37.5	37.5	37.5	62.5	0.0	→	37.5
嶺南地区	45.2	52.4	2.4	42.8	57.1	38.8	4.1	↑	53.0	28.6	46.9	46.9	6.1	↓	40.8
在庫	16.7	73.8	9.6	7.1	21.3	67.8	10.9	↑	10.4	0.0	12.0	74.8	13.2	↓	▲ 1.2
福井地区	17.7	71.0	11.3	6.4	19.3	67.2	13.4	↓	5.9	1.6	10.1	72.3	17.6	↓	▲ 7.5
坂井地区	12.5	79.2	8.3	4.2	16.0	68.0	16.0	↓	0.0	▲ 12.5	12.0	88.0	0.0	↑	12.0
丹南地区	14.3	80.4	5.4	8.9	24.0	68.0	8.0	↑	16.0	3.6	12.0	74.7	13.3	↓	▲ 1.3
奥越地区	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0	66.7	33.3	0.0	↑	66.7	▲ 20.0	33.3	66.7	0.0	↓	33.3
嶺南地区	22.6	67.7	9.7	12.9	22.2	72.2	5.6	↑	16.6	0.0	16.7	75.0	8.3	↓	8.4
雇用者	27.6	55.2	17.2	10.4	26.6	52.0	21.4	↓	5.2	11.8	21.4	66.6	12.1	↑	9.3
福井地区	25.8	58.3	15.9	9.9	23.4	57.2	19.3	↓	4.1	10.0	24.8	65.5	9.7	↑	15.1
坂井地区	44.4	38.9	16.7	27.7	34.3	40.0	25.7	↓	8.6	25.0	17.1	62.9	20.0	↓	▲ 2.9
丹南地区	23.9	58.2	17.9	6.0	31.0	52.4	16.7	↑	14.3	15.1	17.9	73.8	8.3	↓	9.6
奥越地区	12.5	75.0	12.5	0.0	25.0	62.5	12.5	↑	12.5	0.0	0.0	87.5	12.5	↓	▲ 12.5
嶺南地区	28.3	50.0	21.7	6.6	23.5	43.1	33.3	↓	▲ 9.8	4.4	23.5	56.9	19.6	↑	3.9
資金繰り	17.3	77.2	5.5	11.7	18.3	77.3	4.3	↑	14.0	11.8	13.4	82.0	4.7	↓	8.7
福井地区	15.9	80.1	4.0	11.9	20.0	77.2	2.8	↑	17.2	12.6	17.2	80.7	2.1	↓	15.1
坂井地区	22.9	71.4	5.7	17.2	26.5	70.6	2.9	↑	23.6	22.9	20.6	79.4	0.0	↓	20.6
丹南地区	14.9	82.1	3.0	11.9	9.5	88.1	2.4	↓	7.1	8.9	7.1	88.1	4.8	↓	2.3
奥越地区	0.0	100.0	0.0	0.0	25.0	62.5	12.5	↑	12.5	12.5	12.5	75.0	12.5	↓	0.0
嶺南地区	23.9	60.9	15.2	8.7	21.6	66.7	11.8	↑	9.8	4.5	7.8	78.4	13.7	↓	▲ 5.9

最近の業況や景気動向に関する主な意見

業種	自由意見
製造業	原材料高騰のため利益減少傾向。
製造業	人件費増、休日増、高齢化等、従業員のみに対応で経営的には益々苦しい。
製造業	業況は非常に良いが、アメリカ・中国の貿易摩擦による景気後退が心配。
製造業	県内新幹線工事の影響で県内の専門職の不足、工事用車両の不足、高騰で全体に悪影響になる時が来る時が心配です。今後、大阪万博に期待している。
製造業	現在、注文数は多いが、来年度からの働き方改革による人件費の高騰が見込まれるので、懸念する点があります。
製造業	国の政策の影響を受け、今後非常に厳しい経営環境におかれる。
製造業	加工賃値上げを実施したが、それを上回る製造コスト(染原料・エネルギー・運賃等)の大幅な上昇により、採算性が悪化している。
製造業	来年2019年10月の消費税増税前の駆け込み需要への対応と増税後の反動による受注減への対策を練る必要がある。市場動向を注視していないといけない。情報収集に注力していく。
製造業	東京オリンピック、人口減、外国人労働者など大きな影響ありと考えます。
製造業	人手不足、仕入れ価格の上昇が大きい。
製造業	暖冬予想で冬物衣料品の販売不振が懸念され、春以降の受注不足が課題となりそうである。
製造業	人材不足と従業員の能力低下、その教育、原材料、物流、ユーティリティコストを価格への転嫁として届いていない。
建設業	建設業においては新幹線や中部縦貫道関係で好景気のように見えるが資材やダンプ等の機械類および人手において不足感があるので単価が上がっている。特に人手不足は大問題であり、若手は全く入ってこない事が深刻である。
建設業	若手人材が大きく不足しており、技術の伝承も行えず、高齢者活用に至ずからならざるを得ない。
建設業	仕事の受注は増えているが、増員しようにもなかなか応募していただかず、今いる人手を何とかして仕事を続けているが、技術の継承も難しく困っている。
建設業	消費税UPへの対応と、その後の景気影響に不安を覚える。また、現状では人材不足で悩んでいる。
建設業	北陸新幹線の敦賀延伸等の受注で、当面は大丈夫だがその後が不安である。
建設業	消費増税に伴う景気対策が政府より示されたことにより、顧客の動向が活性化することを期待する。
建設業	仕入れ材料が全て値上がりしており、職人不足の為に人件費も増えています。
建設業	新幹線、足羽川ダム、中部縦貫道建設効果が大きい。この特需も2～3年である。
各種サービス業	業界にはやや不況感が見られる。
各種サービス業	多少ですが、燃料費(軽油)の値段が下がったので、良かったと思っています。
各種サービス業	福井国体が終了し、2020オリンピック、2023北陸新幹線敦賀開業、2025大阪万博と続きます。人手、人材不足の解消が重要です。
各種サービス業	燃料費の安定
各種サービス業	人件費高や確保、原材料高騰が今後も続くと思われる。フルサービスをしているが、どこかのタイミングで見直しが必要となる。消費増税の対策も迫られる。
各種サービス業	業績が同じでも、運輸業は原油価格の変動により収益が左右されるので、今後はわからない。
各種サービス業	2018.9～12期は福井国体需要が貢献した。
各種サービス業	来年からは、建設や鉄鋼関係と同様に飲食・各種サービス業は、良くなり、武生駅前はまだ15年はいいと思う。
各種サービス業	働き方改革の推進や5年以上派遣社員の社員促進など対応管理が複雑になってくる。
卸・小売業	米中貿易戦争の影響大。
卸・小売業	ドンキホーテやドラッグストアの新規出店により、本来食品スーパーではない業種が食品スーパー化しており、競争が激化してきている。
卸・小売業	衣料業界の悪いのは、回復しないと思う。新分野を考えつつ、得意分野を伸ばしたい。
卸・小売業	仕事があっても人手不足で深刻な状況です。
卸・小売業	受注量にムラが多い用途がまだ多く、安定度の為に用途へのシフトが必要だが、収益性が乏しく、変革が進めにくい状況が益々見られる。
卸・小売業	国内および海外の経済業績が停滞状況のため、先々の見通し悪く思われる。そのために外に向けては積極的な営業を強化すると同時に、内に向けては合理化、効率化に力を入れる必要ありと思っている。
卸・小売業	全般的に仕入れ価格が約20%引き上げとなり、販売額(量)の減収となっている。
卸・小売業	自動車関連税制改正の影響が不透明。
卸・小売業	婦人テキスタイルに於いては、国内は縮小の一途で、頼みの中国貿易に於いても、かげりが見えてきた。全体的にトレンドがカジュアルで、しばらく厳しい状況が続く。
不動産業	不動産価格の低下に伴う手数料減、また、今後少子高齢化における影響が出てくると思います。